

# 「北陸信越地区A I S普及促進連絡会(第2回)」を金沢市で開催！ ～ A I S普及に向けた戦略を検討 ～



冒頭あいさつする北陸総合通信局  
松澤無線通信部長

総務省北陸総合通信局（局長 吉武 久）は、平成28年7月21日（木）、金沢市内で「北陸信越地区A I S普及促進連絡会（第2回）」を開催しました。

本連絡会は、北陸信越地区の運輸、水産、通信に関係した国の6機関が参加し、漁船、レジャー船等小型船舶の海難事故未然防止に有効なA I S（船舶自動識別装置）の普及促進に向けた戦略を検討するもので、各機関持ち回りで事務局を担当しており、今回は北陸総合通信局が担当しました。

初めに、北陸総合通信局及び信越総合通信局から、北陸・信越地区のA I Sの無線局数の推移について、次に、第九管区海上保安本部から、①全国的にA I Sを設置した小型船舶の局数は増加傾向にあるが、第九管区管内での設置は、まだ少ない状況であることや、②過去5年間、第九管区管内では、473隻の海難事故が発生しており、そのうち422隻が小型船舶であること、などの報告がありました。

さらに、北陸信越運輸局及び新潟漁業調整事務所からは、A I S周知啓発に関する取組状況等の説明がありました。

その後、総務省総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課 松井明 課長補佐より「A I Sに係る海上無線通信の状況」と題して講演があり、衛星回線を用いることにより、通信範囲が拡大できることに着目し、「衛星A I S」の平成30年度からの運用開始を目指し、制度整備を行っていくことの説明がありました。

最後に、引き続き各関係機関において連携を強化し、A I S普及促進を図り船舶事故の未然防止に努めることを確認するとともに、事務局である北陸総合通信局から漁協などにA I Sの必要性の認識を高めてもらうため、今年度中に機器の展示説明会を開催することを提案し、実施に向けて準備を進めていくことが確認されました。

北陸総合通信局では、今後も、小型船舶と大型船舶が容易に連絡を取り合うことのできる船舶共通通信システム（国際VHF）やA I Sの普及促進に向け、周知・啓発の取り組みを進めていきます。



講演する松井基幹・衛星移動  
通信課課長補佐



北陸信越地区AIS普及促進連絡会の様子

お問い合わせ先  
無線通信部航空海上課  
076-233-4450